

# 平成 25 年度 財団法人印旛沼環境基金事業報告書

## 第1 財団法人印旛沼環境基金の概要

### 1. 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、併せて印旛沼周辺地域の環境保全に資することを目的とする。

### 2. 沿革

昭和 59 年 11 月 20 日、佐倉市宮小路町 12 番地に財団法人印旛沼環境基金として、民法第 34 条の規定に基づいて、千葉県知事の設立許可を受けて発足した。

## 第2 事業の実施状況

### 1. 事業の概要

平成 25 年度の事業は、平成 25 年 2 月 19 日開催の第 2 回理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

### 2. 事業の内容

#### (1) 印旛沼および流域における調査研究

##### ① 水質調査等結果の取りまとめ

平成 24 年度に千葉県が実施した公共用水域、および印旛沼流域 13 市町がそれぞれ独自に実施した流域の河川・排水路等の水質調査結果等を広く収集し、取りまとめを行った。

取りまとめ結果は、平成 26 年度に取りまとめを行う平成 25 年度と同調査結果と合わせて、「平成 25・26 年版いんば沼白書」(平成 26 年 11 月発行予定)に掲載。

##### ② 動植物等に関する調査

ア) 印旛沼(流入河川河口域、排水路等を含む)における水草分布調査

この調査は平成 17 年度以降、当環境基金が隔年で行っている独自の調査の一つで平成 25 年度はその該当年であったことから、平成 25 年 6 月 28 日および平成 25 年 7 月 1 日の両日に行った。

調査結果は、平成 26 年 11 月発行予定の「平成 25・26 年版いんば沼白書」に掲載。

##### ③ 印旛沼およびその流域における各種関連資料の収集と取りまとめ

ア) 水質等に関連する情報収集

県および流城市町が平成 24 年度に行った水環境関連の行事、啓発活動などに関する情報を広く収集し、取りまとめた。結果は、平成 26 年度に取りまとめる平成 25 年度の同情報収集結果と合わせ、平成 26 年 11 月発行予定の「平成 25・26 年版いんば沼白書」に掲載。

イ) 資料収集と書籍購入

- ・水資源開発施設等管理年報(第 43 号・第 34 号)、独立行政法人水資源機構
- ・大滝末男・石戸忠:日本水生植物図鑑、(株)北隆館
- ・千葉市教育委員会編:天保期の印旛沼堀割普請など

## (2) 講習・学習会および観察会

### ① 講習・学習会等の講師派遣

流域内の市町、学校等の関係機関およびNPO 法人を含む一般市民団体等からの要請を受け、下表に示す学習会や、講演会等に講師を派遣した。

開催日	場所	テーマ	主催(対象)
H25. 5. 8 (水)	佐倉市立中央公民館	水環境と人間生活	佐倉市教育委員会 (佐倉市民カレッジ)
H25. 7. 23 (火)	印旛沼	屋形船による印旛沼自然観察会 (1)	なりた環境ネットワーク (成田市民)
H25. 8. 27 (火)	印旛沼	屋形船による印旛沼自然観察会 (2)	なりた環境ネットワーク (成田市民)
H25. 9. 2 (月)	成田市生涯大学院	印旛沼の今と昔 (前編)	成田市教育委員会 (成田市生涯大学院)
H25. 9. 10 (火)	成田市生涯大学院	印旛沼の今と昔 (後編)	成田市教育委員会 (成田市生涯大学院)
H25. 9. 6 (金)	千葉県水産総合研究センター内水面水産研究所	印旛沼について	NPO 法人印旛野菜いかだの会 (千葉市立柏井小学校4 学年)
H25. 11. 25 (月)	千葉県教育会館	印旛沼の水草の現状	印旛沼流域水循環健全化会議 (生態系ワーキンググループ)
H26. 3. 24 (木)	富里市役所	環境行政－公害から環境－	富里市役所 (富里市環境審議会委員)

### ② 屋形船による印旛沼観察会

ア) 屋形船による印旛沼観察会 (共催：印旛沼水質保全協議会)

印旛沼流域住民の沼への関心を高めるため、沼の水質の現況と沼周辺の自然環境の観察を目的として、平成 25 年 7 月 25 日に開催。参加者は 149 名。

イ) 家族で触れる印旛沼 (共催：成田市)

親子での参加を原則として、船中でパックテストを用い水質検査等を行い、沼への意識高揚を図ることを目的に平成 25 年 8 月 6 日に開催。参加者は 1 組 3 名。

### ③ 印旛沼公開講座「温故知新」(共催:佐倉市)

流域内外の住民に印旛沼および流域の自然や、歴史・文化等を多岐にわたり、深く理解してもらおうことを目的に行う講座で、平成25年度においては、佐倉市役所との共催で下表に示す2つのテーマでそれぞれ3回の講座を開催した。

・開催場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール

回	開催期日	講座名	講師(所属)	聴講者
テーマ：いんば沼の貌(続)				
第1	H25. 7. 27 (土)	文学からみたいんば沼の自然と風土	内田 儀久 (印旛沼文学研究者)	54名
第2	H25. 8. 31 (土)	松本清張の“天保凶録”にみるいんば沼	山口 政幸 (専修大学文学部教授)	57名
第3	H25. 9. 28 (土)	いんば沼を愛した歌人ー吉植庄亮と北原白秋ー	秋葉 四郎 (歌人)	50名
テーマ：いんば沼の水源を育む土地、そしてわき水				
第1	H25. 10. 12 (土)	いんば沼を育む土地の移り変わり	瀧 和 夫 (千葉工業大学名誉教授・財団法人印旛沼環境基金主任研究員)	47名
第2	H25. 11. 2 (土)	わき水の仕組みを知る	濱田 浩美 (千葉大学教育学部教授)	44名
第3	H25. 12. 7 (土)	わき水を科学する	今橋 正征 (東邦大学名誉教授)	47名

・対 象：印旛沼流域内外の住民

### (3) 啓発・宣伝

#### ① ホームページの公開

インターネットを利用して印旛沼環境基金の活動や計画・予定の行事、さらには印旛沼および流域の環境保全等に係わる最新の情報を幅広く流域の住民に伝えるとともに、他団体との情報交換や交流を目的にホームページを公開した。

#### ② 「水辺の風景画コンクール」(第16回)の募集作品の展示等

印旛沼流域内の小・中学校の児童および生徒に水環境への関心を抱かせるため、印旛沼および流域の河川等、また他地域で見たり、触れたりした水辺を描いた「水辺の風景画」を募集・審査し、選考した作品の展示（佐倉市立美術館）、さらにまた入賞作品（最優秀賞、優秀賞、流域市町長賞、佳作）については表彰するとともに、流域市町を巡回・展示した。

なお、佐倉市立美術館への来館者（展示作品の鑑賞）は、延べ782名であった。

・募集対象：印旛沼流域13市町の小・中学校の児童および生徒

・応募学校数：124校（小学校：100校、中学校：24校）

・応募作品数：1,903点（小学校：1,558点、中学校：345点）

・展示作品数：516点（小学校：404点、中学校：112点）

・表彰：最優秀賞 1点：水口 光馬（佐倉市立志津小学校5年生）

優秀賞 2点：高松 美希（成田市立神宮寺小学校5年生）

：石井 美妃（佐倉市立臼井西中学校3年生）

市町長賞 12点

佳作 20点

・表彰式：平成25年11月2日（土）：「佐倉市立美術館・4階ホール」に於いて

・展示会場：佐倉市立美術館3階展示室

・展示期間：平成25年10月30日（水）～11月3日（日）

・巡回展示：流域13市町（展示期間：各市町5日間）

平成25年10月21日（月）～平成26年2月28日（金）の間

#### ③ 刊行物等の展示・配布

印旛沼の現状と重要性を認識してもらうことを目的に、当基金が直接係わる公開講座や助成事業成果報告会など、また県および市町が開催する各種行事において、当基金編集・発行の各種刊行物等を無料配布、また有償頒布した。

#### ④ 刊行物等の編集・発行

発行日	刊行物名	形式	発行部数	備考
H25. 5. 31	雑誌「いんば沼」(第34号)	A4判8頁	4,000	委託印刷

### (4) 印旛沼環境基金助成事業

印旛沼および流域において自然環境の調査・研究や、環境保全に関する啓発等の各種活動を行っている高等学校、大学およびNPO法人を含む一般市民団体を対象に助成金を交付し、その活動成果についての報告会を開催した。

## ① 助成対象の団体

小学校3校、中学校1校、高等学校1校、大学2校、NPO法人を含む一般ボランティア5団体の計12団体

## ② 印旛沼環境基金助成事業成果報告会の開催

上記助成に基づき行った各学校および団体の諸活動の成果を発表するとともに、各団体間の情報交換と相互の連携を図るため報告会を開催した。

### ア) 開催

- ・ 日時：平成26年1月24日（金）9時20分～15時30分
- ・ 場所：印旛合同庁舎 2階大会議室

### イ) 講師：

佐久間 保男（千葉県教育庁北総教育事務所指導室主席指導主事）、高山 順子（千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター主査）、瀧 和夫（千葉工業大学名誉教授）、本橋 敬之助（財団法人印旛沼環境基金上席研究員）

但し、所属および職名は平成26年1月24日現在

ウ) 一般参加者：70名（講師、関係者を除く）

### エ) 報告の課題名と団体

題 名	団 体
1 印旛沼と周辺の湧水池の自然環境調査	…佐倉市立佐倉東小学校
2 小名木川調査を通じた児童の環境意識向上	…四街道市立中央小学校
3 ビオトープ「ミニ印旛沼」から始める印旛沼の環境再生	…印西市立いには野小学校
4 印旛沼周辺の環境を考える－『物木落水質調査』・『美化作業』を通して－	…印西市立本埜中学校
5 印旛沼の外来種と在来種（魚類・甲殻類）の生態調査	…聖書学園 千葉英和高等学校
6 桑納川に生息する外来生物（アカミミガメ・ウシガエル）の生態調査	…東邦大学 生物部外来生物調査班
7 印旛沼環境調査および市民への情報発信－ナガエツルノゲイトウ・オニビシ・オオフサモの植生調査－	…佐倉印旛沼ネットワークの会
8 印旛沼の水環境改善に向けた新規なアオコ抑制手法の構築	…千葉大学 環境化学研究室
9 花輪川の景観美化と環境調査	…NPO法人八千代オイコス
10 神崎川上流の「親子観察会」と「メダカの里帰り作戦」について	…神崎川を守るしろい八幡溜の会
11 里山保全と里山における自然観察等の活動	…里山の会 ECOMO
12 畔田沢における水環境状況調査・その4	…NPO法人水環境研究所